

注目商品

簡単な工事でオートロックシステム構築ができる 電話式インターホン『テレオープナー』の紹介



株式会社 ライコム

加藤 幸一（防犯設備士）

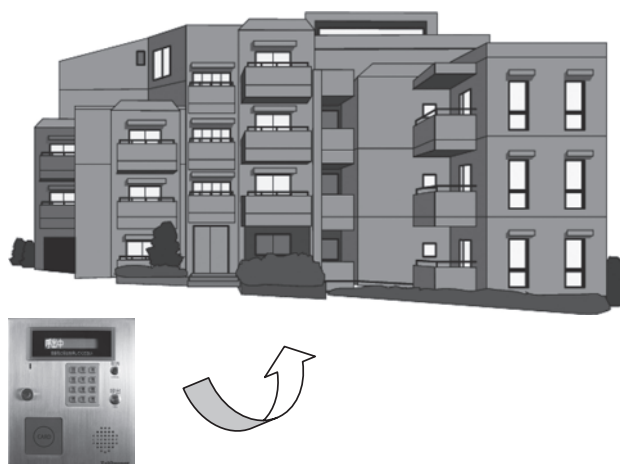
1. 危ない共用部の防犯対策について

共用部の防犯対策が無いと

部外者・不審者が自由に出入りできる。

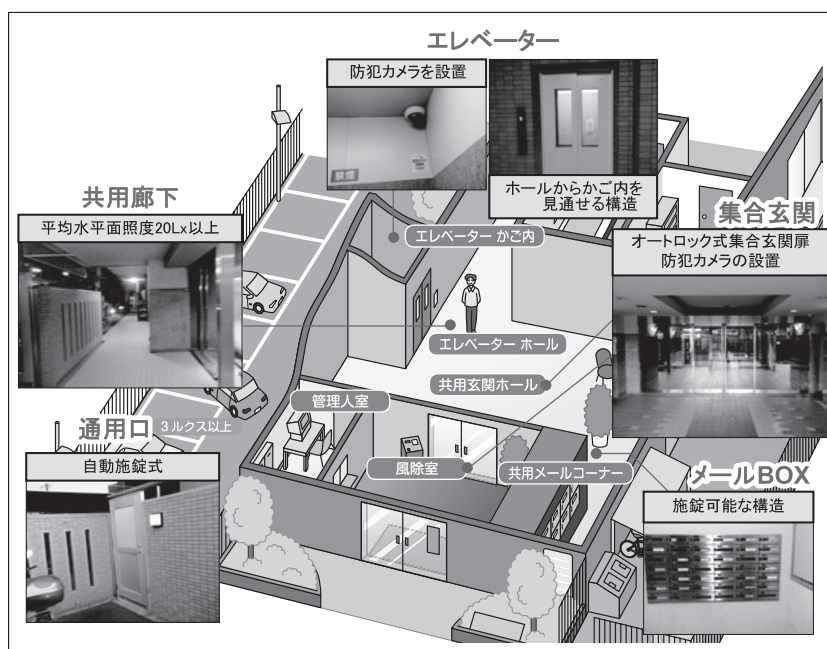
次のようなことが考えられます。

- ・ 不審者の侵入犯罪
- ・ 若者の溜り場（大声・喫煙・食べ散らかし）
- ・ 勧誘などの迷惑行為
- ・ 郵便物の盗難
- ・ 不法投棄
- ・ 泥酔者の就寝・排泄物
- ・ 自殺志願者の飛び降り自殺 等々



2. 共用部の防犯対策について

共用部の防犯対策は、①共用玄関、②メールボックス、③エレベーター、④共用廊下、⑤通用口各々の強化が必須となりますが、共用玄関の対策について述べます。



3. 共用玄関の防犯対策について

共用玄関の防犯対策で効果的なのは出入り口の『オートロック化』です。その具体的な対策として、出入管理システムや侵入警報システム更に、防犯カメラシステムがありますが、これからは集合インターホン（有線式）と電話式インターホンの紹介をします。

（１）新築に適し、多様化した用途に答えられる対策集合インターホン（有線式）

- ・ 集合玄関機・住戸親機・玄関子機・制御盤・警報監視盤などで構成されています。
- ・ 幹線から各居室内及び集合玄関機などそれぞれの機器に配線をして構成します。
- ・ 各種警報器やエレベーター・宅配BOXなどの連動も出来ます。
- ・ 非常警報釦が装備されている機種もあります。
- ・ 住戸親機で映像確認が出来る機種やNWで節電情報など監視する機器もあります。
- ・ 新築では配線工事は簡単ですが、既設ではかなり困難な工事になります。

（２）既設集合住宅に新規でオートロック化するのに適した対策

電話式インターホン『テレオープナー』

マンションやテナント等において安全性確保の要請が高まる中であっても、これまで、共用玄関のオートロックシステム導入には、館内の幹線工事及び各居室内への配線工事が必要になり既設建物への導入には大きなコストと時間が必要でした。

電話式インターホン『テレオープナー』は、電話回線の利用により各居室への工事を無くし、大幅なコストの削減と工期の短縮を実現します。



＜テレオープナー＞

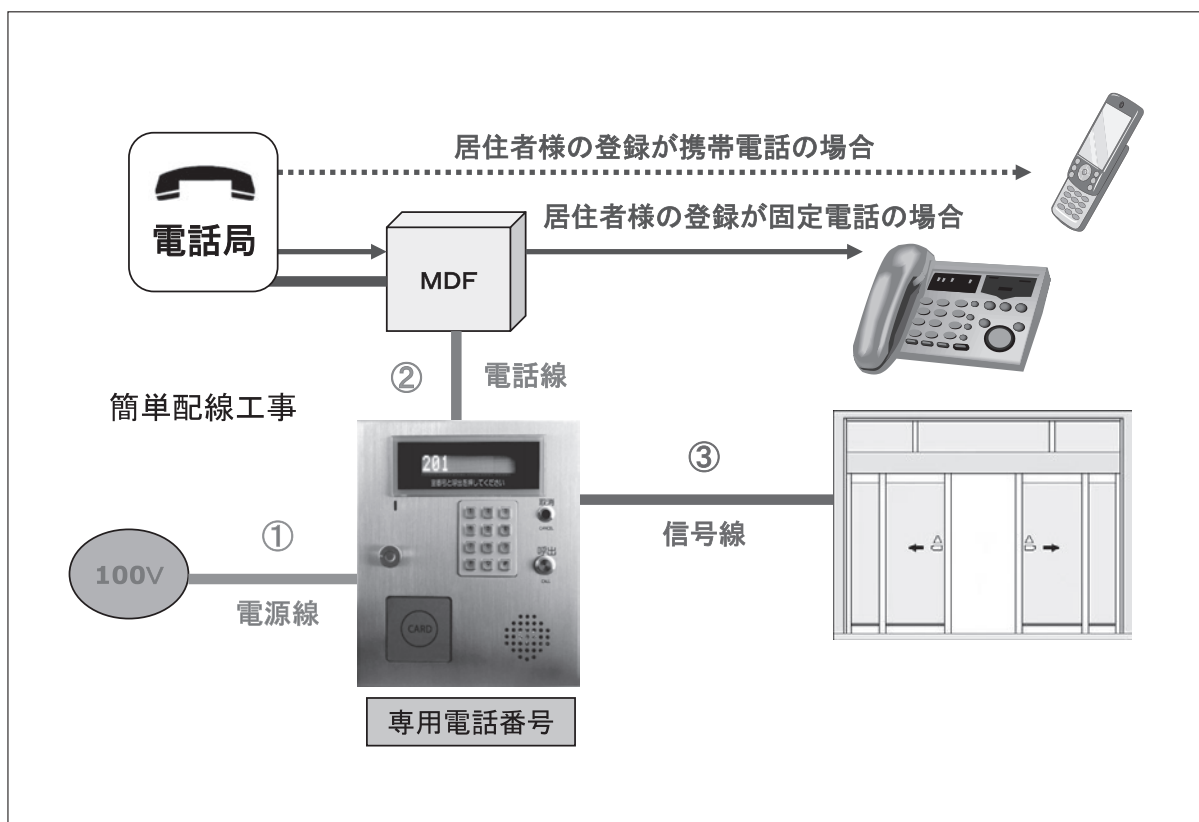
4. 電話式インターホン『テレオープナー』について

電話式インターホン『テレオープナー』とは、電話回線を利用し、各住戸とのやり取りは、登録された電話番号を部屋番号で呼び出し完成する画期的なシステムです。

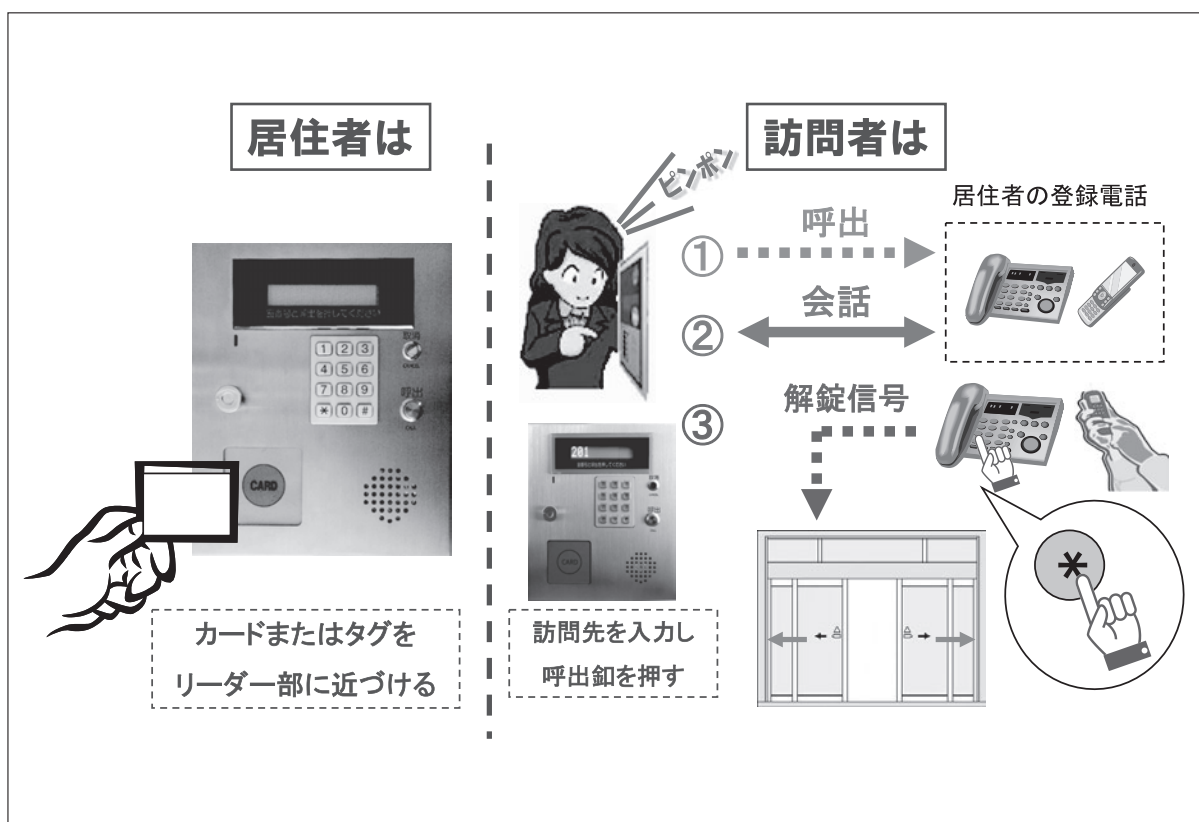
（１）電話式インターホンの特徴

- ・ 電話回線を使用しますので、館内幹線工事の必要ありません。
- ・ 本体は制御部一体型ですので、設置場所は省スペースです。
- ・ 設置は共用玄関部付近の簡単工事で出来ます。
- ・ 住戸内工事は必要ありませんので、居住者様の煩わしさは極めて少なくなります。
- ・ 居住者様の入館は非接触カードを使用しますので、防犯性能及び利便性の向上になります。
- ・ 住戸内の通話機器は既存の電話機（一部除外）を使用しますので、新たな購入は要りません。

(2) 電話式インターホン『テレオープナー』のシステム構成



(3) 電話式インターホン『テレオープナー』での集合玄関扉解錠操作



(4) 電話式インターホン『テレオープナー』・・・品番【XDP-810C】の仕様

・ 外観材質	筐体:ステンレス 文字パネル:アクリル カードパネル:ポリカーボネイド
・ 外観寸法	幅:250mm 長さ:300mm 厚さ:68mm
・ 設置条件	屋内・屋外 防滴仕様 (IP23相当)
・ 使用環境	温度:0～40℃ 湿度:20～80%
・ 電源	入力:AC100V (50/60Hz) 出力:DC12V 1 A 専用ACアダプター使用
・ 消費電力	DC12V 待機時:6 W 動作時:約10W
・ 出力信号	無電圧A接点 (最大接点容量24V 1 A)
・ 居住者の認識方式	RFID非接触ICカード又はICタグ
・ 適応カード規格	ISO14443 A 周波数125Khz/13.56Mhz (動作保証は専用カードのみ)
・ 居住者登録可能電話機	一般電話機 携帯電話機 PHS (トーン信号出力可能電話機のみ)
・ 最大住戸登録数	500戸
・ 最大カード又はタグ登録数	2,000枚
・ 最大カード使用履歴	4,000件
・ 呼出履歴	1,000件

5. 電話式インターホン『テレオープナー』概算価格 (参考価格) 消費税別

(1) 30世帯をモデルとした場合

①テレオープナー本体	150万円
②回線初期設定費	6万円
③居住者カード	6万円
④設置工事費	20万円
合 計	182万円

(2) その他として、諸経費、扉や電気錠などががかかります。

6. 設置事例の紹介

(1) オートロック設備設置のポイント

オートロック化をするために 共用玄関扉の錠を電気で開閉できるようにします。

①既存扉の場合

電気錠の種類 (組込電気錠・面付電磁石錠など)・框内配線可能か有無・クローザー動作や戸あたり有無・退出釦有無などの確認が必要

②自動扉新設の場合

設置位置・開口寸法・材質・種類・デザインを検討する。

設置前



設置後



③開き扉の場合

設置位置・開口寸法・材質・種類・開き方向・退館方法などを検討する。

設置前



設置後



④集合玄関以外の出入口

扉の選択・施錠方法（入館する場合は電気錠・出館するのみの場合は自動施錠）

設置前



設置後



⑤インターホン本体の設置方法

取付位置（場所・高さ）・取付方法（壁面取付・半埋込・F I X組込・台座設置など）を検討する。

壁面設置



台座設置



⑥施工完成写真



7. NPO法人神奈川県防犯セキュリティ協会の推奨品として認定

NPO法人神奈川県防犯セキュリティ協会では法人会員が扱う機器・機材を一定の基準で評価して、満足している機器・機材を推奨認定し、あらゆる地域防犯活動の機会を捉えて広報し、拡売支援をしています。『テレオープナー』はこの基準をクリアし、「**神防協推奨NO. 130**」で認定され、神防協挙げて推進していただいています。

8. まとめ

弊社では、賃貸住宅物件をはじめ、集合住宅のオートロック化を推奨し、訴求活動を推進しております。賃貸住宅のオーナー様、既設マンションのオーナー様で導入検討が進められ、件数も増加傾向となってきております。全国展開も視野に入れ、代理店の募集も行っております。この掲載を機会に広く浸透できればと思います。今後とも、ご支援をよろしくお願いいたします。

安全・安心・省エネ・環境分野の設備機器展示場常設
ホームページもご覧ください

www.kklicom.co.jp